Barryvox® は、雪崩から身を守る装置ではありません。
冬季のアウトドアスポーツの愛好者である皆さんご自身が、雪崩による遭難を防止するために考えられるあらゆる対策を講じ、慎重に行動計画を立てる必要があります。最悪のケースに備えて、同行者による救助訓練を繰り返し行っておく必要があります。

Barryvox サービスセンター、登録および追加資料
雪崩遭難者の救出、雪崩の理論、Barryvox のユーザー登録、公式な Barryvox サービスセンターに関する追加情報については、**www.mammut.ch/Barryvox** を参照してください。

以下の Barryvox トランシーバに関する文書は、**www.mammut.ch/BarryvoxManual** からダウンロードできます。

- Barryvox 法および規制ガイド
- Barryvox 緊急時の手順
- Barryvox 取扱説明書
- Barryvox レファレンスハンドブック
- Barryvox アプリケーションセーフティガイド

雪崩の多い地域では、この安全に関する情報を熟読し、装置を熟知した上でご使用ください。

© Copyright by Mammut Sports Group AG and Genswein. Mammut Sports Group AG と Genswein が版権を所有します。

テクニカルデータ: デジタル装置、アンテナ 3本/送信周波数: 457kHz/最大レンジ: >60m/捜索範囲幅: 50m/Wリンク通信チャンネル/アルカリ乾電池: AAA 1.5V 3本/電池寿命: 送信(SEND)モードで通常 250時間、または送信(SEND)モードで最低 200時間+捜索(SEARCH)モードで 1時間使用可/寸法: 113x75x27mm/重量: 210g(乾電池を含む)
今後発売される装置のテクニカルデータおよび製品仕様は予告なく変更することがあります。

Head Office(本社):
Mammut Sports Group AG
Birren 5
5703 Seon, Switzerland
Tel. +41 (0)62 769 81 81
info@mammut.ch

North America(北米):
Mammut Sports Group Inc.
135 Northside Drive
US-Shelburne, VT 05482
Tel. +1 802 985 5056
info@mammutusa.com

MAMMUT

Version 1.0 2012

ELEMENT *Barryvox®*

取扱説明書

Barryvox レファレンスハンドブックは、
www.mammut.ch/BarryvoxManual から
ダウンロードしてください。

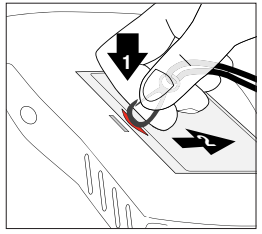
MADE IN SWITZERLAND

MAMMUT

設定および装着位置

乾電池の装着と交換

本装置には、**必ず** 1.5 V アルカリ乾電池（LR03/AAA）を使用してください。必ず同じ型式の新品の乾電池を 3本使用してください。充電式電池は使用できません。また、乾電池は 3本とも同時に新品に交換してください。装置を長期間使用しない場合は（夏季など）、本体から乾電池を取り出してください。



Barryvox は慎重に取り扱ってください。地面に落としたり機械的なショックを与えないでください。

装置のスイッチが入っているときは、装置のすぐ近くに**電子機器**（携帯電話、ラジオ、ヘッドランプなど）や**金属部品**（ポケットナイフ、マグネットボタン、カメラなど）が**ないことを確認してください**。

装置の高い信頼性を維持するために、装置を正規の Barryvox サービスセンターに送り、**3 年毎にメンテナンス**（有料）を行うことを強くお勧めします。

装置のシャットダウン時に、本体側面の O キーを押して次回の推奨チェック日を確認してください。

バッテリーカバーの裏側に「**緊急時の手順**」シールを貼り付けてください。

装着ベルトおよび装着位置

どのような装着位置でも、常にディスプレイが身体側になるように向けてください。

装着ベルト（推奨携行位置）
装着ベルトはツアー開始前に一番下の下着の上に着け（装着ベルトのベースプレートの図を参照）、ツアー中は身体から離さないでください。**装置は必ず衣服の下に着けてください。**リストストラップの赤色のフックで、装着ベルトのベースプレートに本体を固定してください。

装置をポケットに入れて携行する
Barryvox をズボンのポケットに入れて携行する場合は、ツアー中は常にポケットのファスナーをしっかりと閉めておいてください。できれば、リストストラップをズボンに取り付けるか、またはベルトに固定してください。

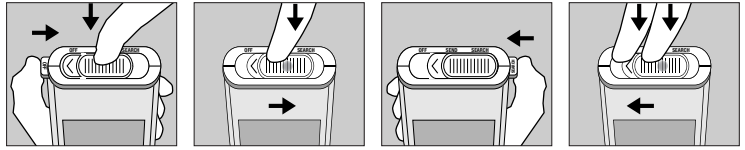
ツアー

救助キット

装置、スコップ、ゾンデ

Mammut または Snowpulse エアバッグシステムを併用することで、雪崩に遭遇しても、地表に留まる可能性が高くなるため、完全に埋没するリスクが大幅に低減されます。

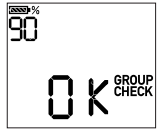
メインスイッチ OFF/SEND/SEARCH



OFF -> SEND　SEND -> SEARCH　SEARCH -> SEND　SEND -> OFF

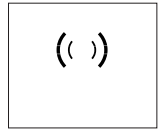
モードが不意に変わることがないように、スイッチが常に所定の位置で機械的にロックすることを確認してください。

スタートアップ/セルフテストおよびバッテリーテスト



装置の電源が入ると、セルフテストが実行されます。セルフテストで問題が発生した場合は、アラーム音とともにエラーメッセージが 20 秒間表示されます。電池の残量が 20 %未満の場合や電池のアイコンが表示された場合は、できるだけ早く乾電池を交換してください。

送信（SEND）モード



送信（SEND）モードは、屋外や雪崩の危険のあるあらゆる状況で使用する、通常の動作モードです。送信（SEND）モードをオンにするたびにビープ音が 3 回鳴ります。個々の信号パルスがテストされます。テストが正常に進めば、赤い SEND 表示灯が点滅します。送信（SEND）モードでは、液晶ディスプレイの表示が自動的にオフになります。

シングルグループテスト

パーティが出発する前に、全員の装置のテストを行います。パーティの全員の装置を送信（SEND）モードにします。

グループリーダーは自分の装置のメインスイッチを OFF の位置から SEND の位置に切り替えて「グループテスト」モードに切り替え、5 秒以内に側面のキーを押します。

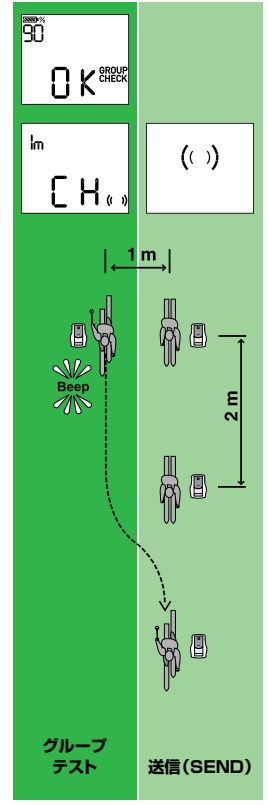
そして、グループリーダーは、パーティ内の各装置をチェックします。ディスプレイに表示されている範囲内で、捜索参加者各人の装置から**ビープ音が明瞭に聞こえれば、テストは OK です**。

テスト距離は 1 m です。捜索参加者の間隔は 2 m です。表示されたテスト距離を短くしてはなりません。装置がテスト距離が短すぎると検知すると、アラームが鳴りユーザーに警告します。

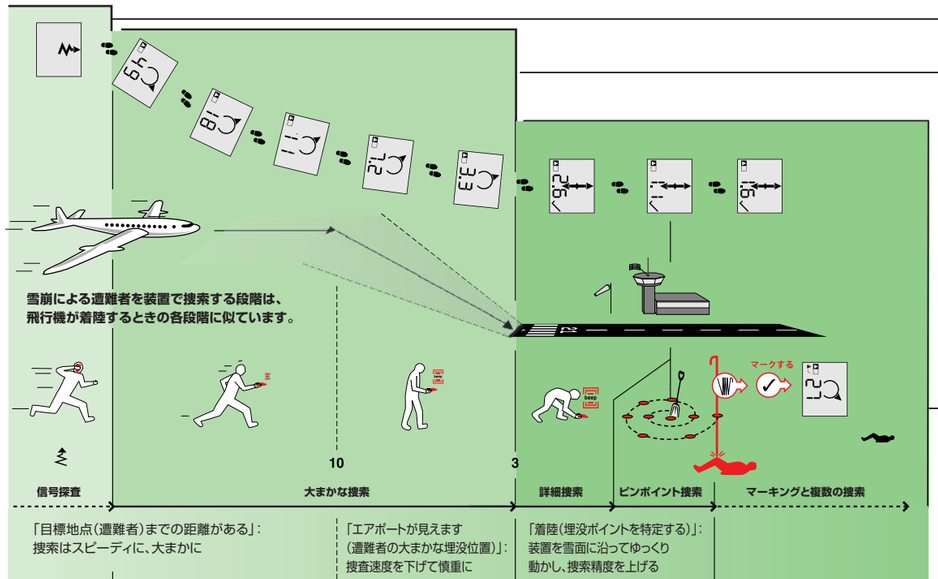
テストを行っている装置の送信周波数が標準規格から外れていることを PULSE Barryvox® が検知すると、警告メッセージ「E6」が表示されます。この場合、不良装置を特定するために、捜索参加者間の距離を 5 m ずつあけてテストを繰り返します。不良装置はメーカーに依頼して点検・修理してください。

すべてのメンバーの装置のテストが終了したら、グループテストは終了です。リーダーは本体側面のキーを押して、自分の装置も送信（SEND）モードに切り替えます。

問題の解決方法： 表示されている範囲内でビープ音が聞こえない場合は、その装置は使用できません。
1. 装置が「送信」モードに切り替わっているかを点検します。
2. バッテリーを交換します。
3. メーカーに依頼して装置を点検してください。



捜索



緊急時の手順

緊急時の手順（装置裏面のステッカー）は、同行者による救助を正しく行うための基本的な手順です。状況に応じて手順を適応させてください。

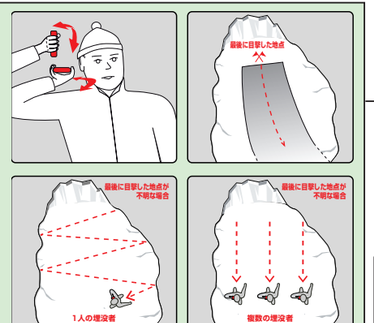
1. 状況を把握する。
2. 捜索に使用しないすべての捜索装置を OFF にする。
3. 少なくともひとりの救助者が捜索装置を用いた捜索を視覚・聴覚を働かせて行う。
4. 装置での捜索終了。すべての装置を送信（SEND）モードにする。
5. 遭難者を救出し、応急処置を施す。救援を要請する。

信号探査

- 雪崩の範囲を組織的に捜索します。
- 信号探査の間、救助者は、雪崩のデブリ（堆積物）上に目印を付けて、雪面から出ている身体の一部や携行品が見えるようにしておく。最初の信号はダブルビープ音が鳴ります。

捜索範囲の最適化

この段階の捜索では、装置の向きをあらゆる方向に変えて信号の検出に努めます。顔の横でスピーカを耳に向けた状態で装置を持ちます。



大まかな捜索

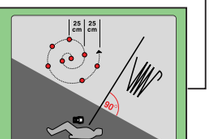
- 装置を使うときは落ち着いて、十分に精神を集中し、慌てることなく捜索してください。
- 装置を身体の前で水平に保ってください。
- 距離と方向の表示に注目してください。
- 矢印の示す方向に移動してください。
- 表示されている距離が増加しているときは、遭難者から離れる方向に向かっています。逆方向に進んでください。
- 遭難者に近づくにつれて、一層ゆっくりとそしてより慎重に前進することが大切です。

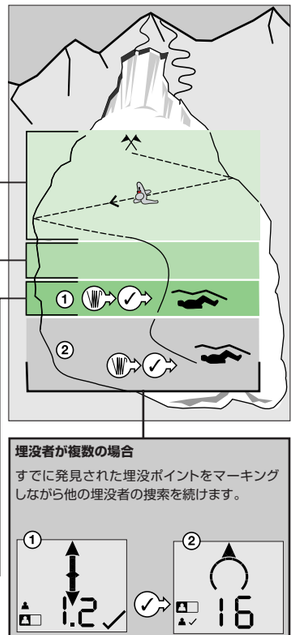
詳細捜索

詳細捜索段階では本装置を雪面に近づけます。直線で捜索を続け、表示距離が一番小さくなるポイントを探します。スコップでポイントに目印を付けて、ゾンデによるピンポイント捜索に備えます。

ピンポイント捜索

埋没者の位置を正確に突き止めるにはゾンデを使用します。ゾンデが埋没者に当たって埋没者の位置を確認できたら、ゾンデを雪面に残しておき、キーを押して埋没者発見とマークします。
ゾンデが埋没者に当たって埋没者の位置を確認できるまでは、✓ - マーク機能は使用しないでください。埋没者の位置をマークするために装置を雪面に置かないでください。





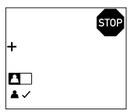
埋没者が複数の場合

すでに発見された埋没ポイントをマーキングしながら他の埋没者の捜索を続けます。

自動送信（SEND）モード切り替え

何も操作しなくても 8 分が経過すると、本装置は自動的に捜索（SEARCH）モードから送信（SEND）モードに切り替わります。復帰する前にはアラーム音が鳴ります。アラーム音が鳴ってから 30 秒以内に左右のどちらかのキーを押せば、切り替えは行われません。
救助者が二次的な雪崩で遭難した場合でも、この機能によりその位置を探すことができます。

捜索の中止/「チュウシ」



複数の埋没者の捜索中に、信号が重なり合って、個別の埋没者の信号の特定が困難になることがあります。
救助者は一時的に捜索を中止して、捜索の最適ルートから外れてしまうのを防ぎます。Barryvox®は「チュウシ」を表示して、捜索を中断するよう促します。立ち止まって、「チュウシ」の表示が消えるまで待ってください。

表示が消えれば、捜索を続行することができます。

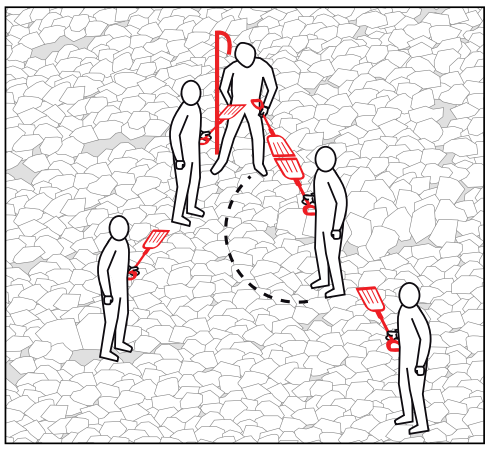
プラス（+）記号は、埋没者リストに登録されている別の埋没者からの信号が受信されていることを示しています。すでに発見された埋没者の装置をできるだけ早くオフにして、残りの埋没者からの信号を容易に特定できるようにしてください。

救出

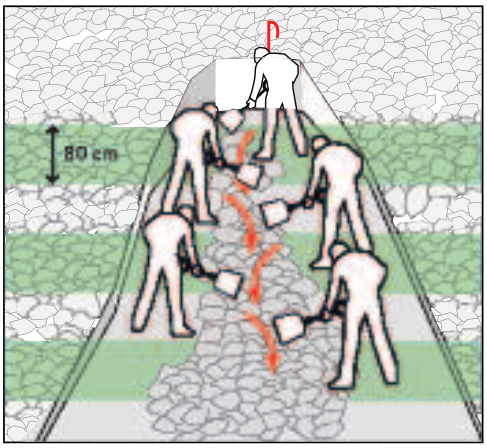
埋没者の掘り出し

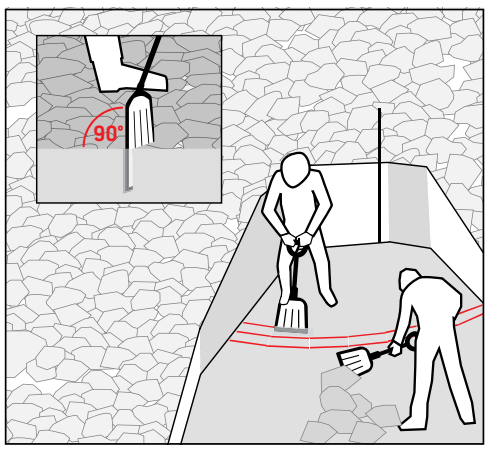
埋没者の掘り出しも訓練をしておく必要があります。これが最も時間のかかる作業です。スコップで雪の塊を切り出します。

V 字型の雪コンベアベルト



- 救助者を「V」字に配置します。
- 先頭の 2 人の救助者間の距離はスコップ 1 本分。
  残りのすべての救助者間の距離はスコップ 2 本分。
- 「V」字の長さ：
  - 平坦地：2 × 埋没深度
  - 急傾斜地：1× 埋没深度
- 救助者数：「V」字長さ 80 cm おきに 1 名。
- 「V」字の先端（先頭）の救助者は埋没者を示すゾンデに沿って掘り進みます。
- 救助者は、「V」字の先端に位置する救助者の命令に従って、一定の間隔（約 4 分ごと）で時計回りに掘り進みます。
- スコップを使用して雪の塊を切り取ります。スコップは表面に対して垂直に踏み込みます。半月形の切取りパターンを使用します。「V」字の開放端に向かって立ち、1 個目の半月形を切り込みます。その際に、スコップの柄は引き戻さないでください。2 個目以降の半月形を切り込むときは、雪の塊を切り込み、塊が出現した後で、スコップの柄をゆっくり後方に引き抜きます。次の半月形を切り込む場合は、ゾンデに向かって後退します。こうすれば、すでに切り取った塊を踏みつけることはありません。





複数の埋没者が存在する場合は、救出された人の装置の電源を直ちに切ってください。